

**令和2年度(2020年度)
函館市地域包括支援センター活動実績**

目 次

○ 函館市の現状	1
【包括的支援事業】	
○ 総合相談支援業務	
1 地域包括支援ネットワークの構築	2
2 実態把握	4
3 総合相談	5
4 高齢者見守りネットワーク事業	6
5 保健福祉サービス等利用調整	10
6 住民に対する広報・啓発活動	10
○ 権利擁護業務	
1 権利擁護相談対応状況	12
2 スキルアップ対策	13
○ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	
1 包括的・継続的ケアマネジメント支援体制構築状況	14
2 介護支援専門員への個別支援	16
○ 地域ケア会議推進事業	
1 地域ケア会議開催状況	20
2 住民等に対する広報・啓発活動	25
○ 生活支援体制整備事業	
1 地域におけるネットワーク構築	26
2 住民主体の助け合い活動等の重要性についての普及啓発	26
3 地域における高齢者の支援体制および社会参加に関するニーズの把握および課題の抽出 ..	27
4 住民主体の助け合い活動等の仕組みの創出および充実	28
○ 認知症総合支援事業	
1 認知症初期集中支援推進事業	30
2 認知症地域支援・ケア向上推進事業	30
【任意事業】	
1 住宅改修支援事業	33

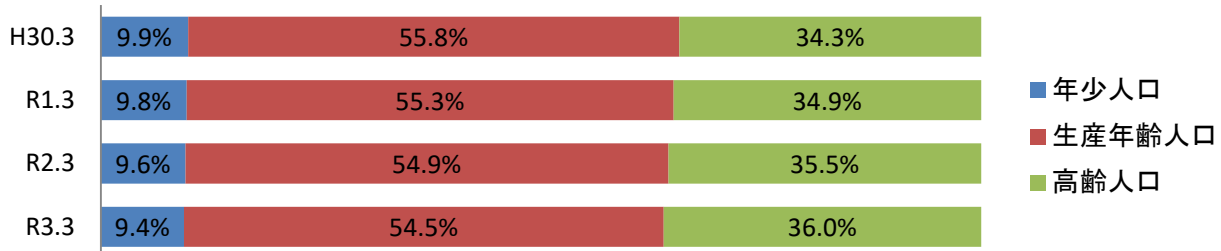
函館市の現状

1. 人口の推移と年齢構成

(人)

	H29.3	H30.3	H31.3	R2.3	R3.3	割合
年少人口	26,580	25,783	25,070	24,336	23,599	9.4%
生産年齢人口	149,062	145,235	142,026	139,051	136,303	54.5%
高齢人口	88,064	89,156	89,676	89,953	90,120	36.0%
(再掲) 65～74歳	44,041	44,393	43,798	43,754	43,981	17.6%
(再掲) 75歳以上	44,023	44,763	45,878	46,199	46,229	18.5%

年齢構成割合の推移



2. 世帯構成(R3.3末)

(件)

	世帯数	割合
高齢者単身世帯	36,174	25.7%
高齢者複数世帯	18,544	13.2%
その他	86,254	61.2%

3. 介護保険サービス事業所数(R3.3末)

(件)

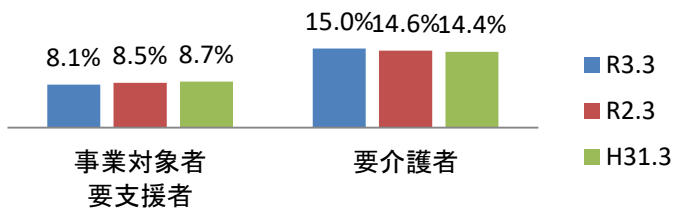
居宅介護支援・小規模多機能型等	122
地域密着型サービス(上記除く)	128

4. 事業対象者, 要支援・要介護認定者の状況

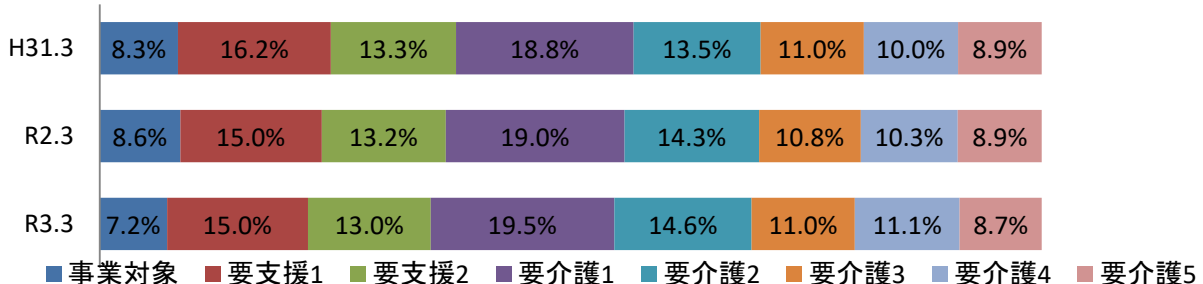
(人)

	H31.3		R2.3		R3.3	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
事業対象者	1,722	1.9%	1,777	2.0%	1,490	1.7%
要支援認定者	6,114	6.8%	5,855	6.5%	5,835	6.5%
要介護認定者	12,876	14.4%	13,146	14.6%	13,512	15.0%
事業対象・要支援認定者の給付実績	4,870	62.1%	4,493	58.9%	4,617	63.0%

認定率の推移



介護度の内訳の推移



【包括的支援事業】総合相談支援業務

1 地域包括支援ネットワークの構築

(1) 地域包括支援ネットワーク構築機関数

(機関)

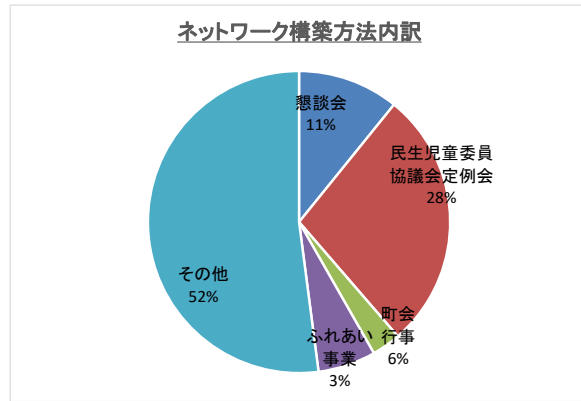
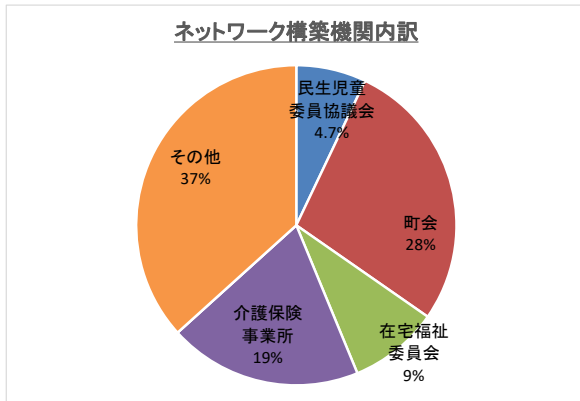
センター名	民児協 方面	町会	在宅福祉 委員会	介護保険 事業所	(再) 地域密着	職能団体 連協	その他	合計	(再) 新規	その他の内訳
あさひ	3	20	20	5	2	0	26	74	13	青柳小学校、青柳中学校、あさひ小学校、入舟クラブ、大槻食品函館店、高野寺、小林商店、末広倶楽部、善光寺、高佐新聞販売店、道新いけまつ、函館市教育委員会、函館西警察署、函館認知症の人を支える会、林新聞販売店、東川東寿会、宝寿会、法テラス函館事務所、弁天寿会、元町長寿会、森美容室、ヤマト運輸函館主管支店・漁火支店・函館ベイ支店、山本酒食料品店、弥生小学校
こん中央	4	4	0	7	7	0	5	20	0	鴻仁会、小笹内科医院、住宅型有料老人ホームふかせ、函館バス株式会社、有限会社ウイズ
ときとう	3	2	0	7	6	0	9	21	1	コミュニティハウスよしずみ白鳥下宿、住宅型老人ホーム共生型ハウス光風園、住宅型有料老人ホームこうじゅ三号館、函館市地域まちづくりセンター、函館認知症の人を支える会、函館の地域福祉を考える会、法テラス函館事務所、松陰町ライオンズマンション組合、民医連道南ブロック友の会
ゆのかわ	0	5	2	6	6	0	5	18	3	国立病院機構函館病院、函館大学付属有斗高等学校、函館保護司会サポートセンター・函館分室、深堀小学校
たかおか	0	25	0	1	1	0	3	29	19	函館短期大学、函館臨床福祉専門学校、法テラス函館事務所
西堀	2	5	0	3	3	0	8	18	6	長万部町役場、函館大谷高等学校、函館中央警察署、北斗市地域包括支援センターかけはし、北海道警察函館方面本部、七飯町社会福祉協議会、法テラス函館事務所、ヤマト運輸函館主管支店
亀田	0	5	0	10	6	0	10	25	1	アメニティーコレクトピア、NPOスプリングボードユニティ21、行政書士北村資暁事務所、シダックス株式会社、第一生命株式会社、ノースフォックス、函館高等支援学校、函館弁護士会、函館臨床福祉専門学校、法テラス函館事務所
神山	2	9	2	7	5	0	22	42	25	イエローハウス、NHK函館放送局、えほんカフェひつぽ、協栄電器、嶋田・平井法律事務所、障がい者生活支援センターぱすてる、障がい福祉サービスほっぷ、函館家庭裁判所、函館市成年後見センター、函館消費者協会、函館新聞社、パナソニックの店たねざわ、不栄米穀店、法テラス函館事務所、法テラス八雲事務所、北海道教育大学函館校、北雲葬祭株式会社、南本通小学校、明治ミルクステーション函館宅配センター、安田新聞店、ラッキー電器店
よろこび	3	3	1	2	2	0	2	11	0	鴻寿会、有限会社ウイズ
社協	4	4	2	10	4	0	19	39	0	潮光中学校、市立函館恵山病院、杉山クリニック、戸井支所市民福祉課、東部保健事務所、楳法華クリニック、楳法華支所市民福祉課、函館市教育委員会、函館市社会福祉協議会恵山支所、函館市社会福祉協議会戸井支所、函館市社会福祉協議会楳法華支所、函館市社会福祉協議会南茅部支所、東消防署日ノ浜出張所、法テラス函館事務所、皆川調剤薬局、南茅部支所市民福祉課、南茅部駐在所、レインボー薬局戸井店、わんぱく広場
合計	21	82	27	58	42	0	109	297	68	
R1実績	29	116	26	199	147	10	270	650	141	

(2) 地域包括支援ネットワーク構築数

(回)

センター名	懇談会	民児協 定例会	ふれあい 事業	町会 行事	その他	合計
あさひ	1	27	1	0	45	74
こん中央	1	8	0	0	0	9
ときとう	2	10	0	0	1	13
ゆのかわ	6	0	4	0	0	10
たかおか	1	0	0	0	2	3
西堀	1	3	0	5	7	16
亀田	3	0	0	6	1	10
神山	4	1	0	1	25	31
よろこび	1	1	1	0	0	3
社協	1	4	0	0	20	25
合計	21	54	6	12	101	194
R1実績	43	73	17	54	83	270

- ・ネットワーク構築機関数は、令和元年度の半数以下になっており、大幅に減少している。特に、介護保険事業所が約70%、その他の機関が約60%減少している。
- ・介護保険事業所については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、地域密着型サービス事業所運営推進会議の開催数が減少したことが影響している。しかし、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務や個別ケース対応、函館市地域包括支援センター連絡協議会の取組で、一定程度ネットワークを維持することができたと考えられる。
- ・その他の機関についても、懇談会や研修会の中止の影響で減少していると考えられるが、これまでつながりのなかった高齢者分野以外の社会資源に個別訪問をし、ネットワークの拡大を図ったセンターもあった。
- ・ネットワーク構築数についても、在宅福祉ふれあい事業や町会行事が休止した影響で減少した。しかし、地域や関係機関に電話等で活動状況や困りごとの聞き取りをしたセンターもあった。
- ・令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響で、関係者が集まる機会は減少すると考えられるが、状況に応じ、工夫してネットワークの拡大に取組む必要がある。



(参考)

①地域密着型サービス事業所運営推進会議

(件・回)

センター名	事業所数	参加回数
あさひ	3	13
こん中央	5	7
ときとう	4	4
ゆのかわ	6	4
たかおか	1	1
西堀	3	5
亀田	5	7
神山	2	9
よろこび	2	3
社協	3	11
合計	34	64
R1実績	132	277

②地域ケア会議の参集者(関係分抜粋)

(回)

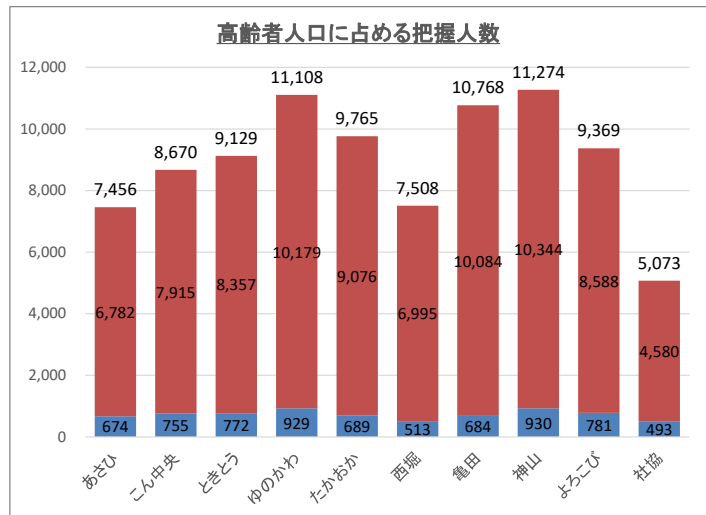
センター名	開催回数	民生委員	町会役員	在宅福祉
あさひ	7	5	6	20
こん中央	9	3	16	3
ときとう	11	13	9	10
ゆのかわ	12	10	10	9
たかおか	4	2	1	0
西堀	6	7	4	0
亀田	8	22	3	0
神山	13	10	4	12
よろこび	9	8	10	2
社協	4	5	11	0
合計	83	85	74	56
R1実績	95	145	152	94

2 実態把握

(1) 実態把握数の推移と高齢者人口に対する実態把握実施率

(人)

センター名	高齢者人口 (R3.3末)	把握人数		把握率
		(再) 新規把握		
あさひ	7,456	674	274	9.0%
こん中央	8,670	755	370	8.7%
ときとう	9,129	772	529	8.5%
ゆのかわ	11,108	929	288	8.4%
たかおか	9,765	689	236	7.1%
西堀	7,508	513	204	6.8%
亀田	10,768	684	270	6.4%
神山	11,274	930	330	8.2%
よろこび	9,369	781	282	8.3%
社協	5,073	493	141	9.7%
合計	90,120	7,220	2,924	8.0%
R1実績	89,953	8,261	3,634	9.2%



(2) 項目別内訳

(人)

センター名	実態把握数(A)				介護予防支援事業 (B/A)	地域支援事業 (C+D/A)	再掲:その他 (D/A)	目標数値に対する達成率	
	予防 (B)	見守り (C)	その他 (D)	合計 (A)				目標数値	達成率
あさひ	674	240	29	405	35.6%	64.4%	60.1%	787	85.6%
こん中央	755	302	89	364	40.0%	60.0%	48.2%	901	83.8%
ときとう	772	181	67	524	23.4%	76.6%	67.9%	959	80.5%
ゆのかわ	929	506	53	370	54.5%	45.5%	39.8%	1,151	80.7%
たかおか	689	306	3	380	44.4%	55.6%	55.2%	1,019	67.6%
西堀	513	187	0	326	36.5%	63.5%	63.5%	788	65.1%
亀田	684	235	0	449	34.4%	65.6%	65.6%	1,114	61.4%
神山	930	276	0	654	29.7%	70.3%	70.3%	1,169	79.6%
よろこび	781	324	27	430	41.5%	58.5%	55.1%	994	78.6%
社協	493	48	29	416	9.7%	90.3%	84.4%	537	91.8%
合計	7,220	2,605	297	4,318					
(再)新規把握	2,924	497	264	2,163	36.1%	63.9%	59.8%	9,419	76.7%
構成割合	100.0%	36.1%	4.1%	59.8%					
R1実績	8,261	2,930	941	4,390					
(再)新規把握	3,634	535	743	2,356	35.5%	64.5%	53.1%	9,150	90.3%
構成割合	100.0%	35.5%	11.4%	53.1%					

- ・実態把握数は年々減少し、令和元年度と比較しても1,000件以上少なくなっており、目標数値の達成率も全体で76.7%、低いセンターでは60%代となっている。実態把握を行うことで、高齢者の情報を集積するとともに、適宜情報を更新することで、相談があった際にスムーズな介入・支援が行えることから、実態把握数の減少の要因について分析し、対策を検討するほか、目標数値の考え方についても、改めてセンターと共有する必要があると考える。
- ・見守りネットワーク事業については、平成29年度から開始した今クールが終盤となり、対象となる町がなかったり、あっても少ないことが影響している。令和3年度からは新たなクールがはじまり、全センターで事業を実施するため、今後は増加することが見込まれる。

3 総合相談

(1) 相談総合相談対応件数

(件)

センター名	対象者 実件数	相談 延件数
あ さ ひ	962	1,646
こ ん 中 央	828	1,334
と き と う	609	1,603
ゆ の か わ	1,112	1,491
た か お か	835	1,232
西 堀	609	830
亀 田	1,103	1,553
神 山	1,148	1,804
よ ろ こ び	773	1,070
社 協	795	1,008
合 計	8,774	13,571
R 1 実 績	8,910	13,004

(2) 相談形態内訳(延)

(件)

センター名	来所	電話	訪問	その他
あ さ ひ	91	667	862	26
こ ん 中 央	63	585	650	36
と き と う	64	717	811	11
ゆ の か わ	56	616	782	37
た か お か	68	492	656	16
西 堀	73	443	304	10
亀 田	90	715	729	19
神 山	67	816	890	31
よ ろ こ び	21	500	544	5
社 協	50	398	558	2
合 計	643	5,949	6,786	193
R 1 実 績	886	5,384	6,420	314

※対象者実数は、月ごとの対象者数(実数)の累計。

(3) 相談者の続柄内訳(重複あり)

(件)

センター名	本人	家族 親族	民生委員	町会 在宅福祉	知人 近隣	ケアマネ	介護保険 事業所	医療機関	行政機関	その他
あ さ ひ	828	675	81	27	42	179	105	136	85	38
こ ん 中 央	600	547	26	15	28	179	64	110	91	67
と き と う	575	522	64	22	26	232	52	131	79	20
ゆ の か わ	900	626	18	18	47	158	41	135	54	36
た か お か	682	569	9	9	32	153	63	88	47	43
西 堀	404	382	21	1	12	87	11	69	12	16
亀 田	609	580	45	8	37	179	58	124	51	60
神 山	1,014	924	67	39	14	255	113	113	89	47
よ ろ こ び	478	504	37	14	29	132	28	80	56	22
社 協	459	218	31	0	7	96	2	47	37	112
合 計	6,549	5,547	399	153	274	1,650	537	1,033	601	461
R 1 実 績	6,696	5,198	370	121	271	1,550	465	949	553	329

(4) 相談内容内訳(重複あり)

(件)

センター名	介護保険 総合事業	保健福祉 サービス	介護予防	健康	認知症	住まい	権利擁護	その他
あ さ ひ	1,204	159	2	140	112	71	13	106
こ ん 中 央	1,015	117	23	209	141	119	79	55
と き と う	1,416	197	22	75	74	40	29	52
ゆ の か わ	1,089	178	4	48	95	80	26	73
た か お か	1,057	64	3	59	67	82	20	91
西 堀	611	108	1	31	31	41	7	66
亀 田	1,145	108	60	77	114	94	24	136
神 山	1,439	191	11	47	140	30	10	115
よ ろ こ び	908	110	0	30	36	29	4	20
社 協	440	500	35	11	17	20	2	13
合 計	10,324	1,732	161	727	827	606	214	727
R 1 実 績	9,563	1,650	392	620	782	589	164	626

・相談延件数は、令和元年度に比べ、約500件増加している。

・相談者の続柄内訳をみると、家族・親族や民生委員、町会、在宅福祉委員からの相談が増加している。『函館市地域包括支援センター運営方針』（以下「方針」という。）において、「地域で生活する人々が高齢者を見守るとともに、誰かが異変に気づいたら相談できる地域づくりを行う」ことを重点課題とし、ネットワーク構築や周知の強化をしてきたことの効果が徐々に表れているのではないかと考えられる。

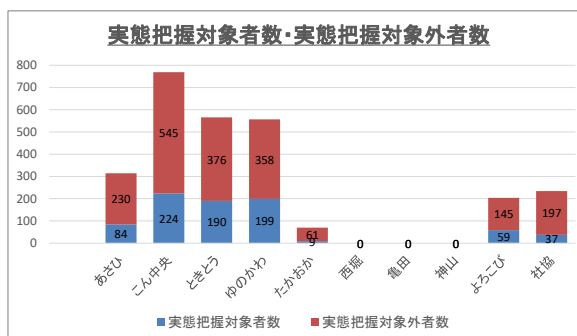
・一方、相談内容内訳では、介護予防についての相談が大幅に減少しているため、センターと市で利用者のセルフマネジメントを推進するための仕組みづくりを行うことで、介護予防の視点で介入できるケースを増やしていくことが必要である。

4 高齢者見守りネットワーク事業(平成29年度～令和2年度・75歳以上単身世帯)

(1) 実態把握対象町の状況

(人)

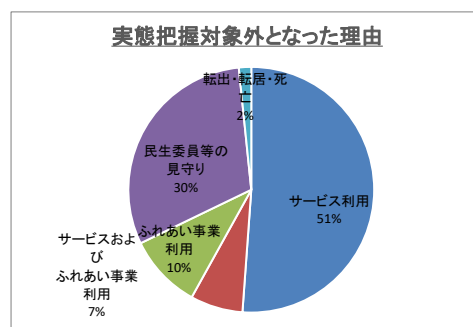
センター名	実施済町数	人口		事業の対象者数 (独居・75歳以上)						
		数 (A)	後期高齢者人口 数 (B)	割合 (B/A)	実態把握対象		実態把握対象外			
					数 (C)	割合 (C/B)	数 (D)	割合 (D/C)	数 (E)	割合 (E/C)
あさひ	3	2,605	63	24.2%	314	49.8%	84	26.8%	230	73.2%
こん中央	6	6,123	1,373	22.4%	769	56.0%	224	29.1%	545	70.9%
ときとう	3	6,340	1,125	17.7%	566	50.3%	190	33.6%	376	66.4%
ゆのかわ	2	4,464	938	21.0%	557	59.4%	199	35.7%	358	64.3%
たかおか	11	632	146	23.1%	70	47.9%	9	12.9%	61	87.1%
西堀	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
亀田	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
神山	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
よろこび	2	4,013	530	13.2%	204	38.5%	59	28.9%	145	71.1%
社協	7	2,542	561	22.1%	234	41.7%	37	15.8%	197	84.2%
合計	34	26,719	5,304	19.9%	2,714	51.2%	802	29.6%	1,912	70.4%
H29以降累計	199	258,857	45,204	17.5%	21,954	48.6%	5,724	26.1%	16,230	73.9%



(2) 実態把握対象外となった理由

(人)

センター名	実態把握対象外	理由									
		サービスおよびふれあい事業利用		サービス利用		ふれあい事業利用		民生委員等の見守り		転出・転居・死亡	
		数 (A)	割合 (B/A)	数 (C)	割合 (C/A)	数 (D)	割合 (D/A)	数 (E)	割合 (E/A)	数 (F)	割合 (F/A)
あさひ	230	32	13.9%	103	44.8%	45	19.6%	50	21.7%	0	0.0%
こん中央	545	49	9.0%	278	51.0%	94	17.2%	117	21.5%	7	1.3%
ときとう	376	25	6.6%	192	51.1%	27	7.2%	116	30.9%	16	4.3%
ゆのかわ	358	20	5.6%	223	62.3%	9	2.5%	101	28.2%	5	1.4%
たかおか	61	5	8.2%	20	32.8%	9	14.8%	26	42.6%	1	1.6%
西堀	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
亀田	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
神山	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
よろこび	145	1	0.7%	85	58.6%	3	2.1%	55	37.9%	1	0.7%
社協	197	0	0.0%	77	39.1%	0	0.0%	119	60.4%	1	0.5%
合計	1,912	132	6.9%	978	51.2%	187	9.8%	584	30.5%	31	1.6%
H29以降累計	16,230	1,223	7.5%	8,115	50.0%	1,737	10.7%	5,029	31.0%	126	0.8%



※平成29年度以降の類型についての記載（以下同様）

・事業の対象者（75歳以上単身世帯）のうち、73.9%が実態把握対象外となった。対象外となった理由については、すでに介護保険サービスを利用している者が57.5%を占めたほか、民生委員や在宅福祉委員など、地域の支援者の見守りを受けている者も多くいることが明らかになった。

(3) 実態把握結果(実態把握実施者)

(人)

センター名	実態把握対象		実態把握実施者		支援の必要性の有無				見守りの有無			
					あり		なし		あり		なし	
	(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/B)	(D)	(D/B)	(E)	(E/B)	(F)	(E/B)	
あさひ	84	38	45.2%	2	5.3%	36	94.7%	38	100.0%	0	0.0%	
こん中央	224	95	42.4%	9	9.5%	86	90.5%	89	93.7%	6	6.3%	
ときとう	190	82	43.2%	9	11.0%	73	89.0%	73	89.0%	9	11.0%	
ゆのかわ	199	81	40.7%	10	12.3%	71	87.7%	79	97.5%	2	2.5%	
たかおか	9	3	33.3%	1	33.3%	2	66.7%	3	100.0%	0	0.0%	
西堀	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
亀田	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
神山	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
よろこび	59	27	45.8%	0	0.0%	27	100.0%	27	100.0%	0	0.0%	
社協	37	29	78.4%	6	20.7%	23	79.3%	24	82.8%	5	17.2%	
合計	802	355	44.3%	37	10.4%	318	89.6%	333	93.8%	22	6.2%	
H29以降累計	5,724	2,597	45.4%	218	8.4%	2,379	91.6%	2,524	97.2%	73	2.8%	

【参考①: 支援が必要な理由】

(人)

センター名	支援の必要性あり	支援が必要な理由(重複あり)											
		身体機能低下		認知機能低下		健康問題		経済問題		孤立		その他	
		(B)	(B/A)	(C)	(C/A)	(D)	(D/A)	(E)	(E/A)	(F)	(F/A)	(G)	(G/A)
あさひ	2	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%
こん中央	9	5	55.6%	0	0.0%	2	22.2%	1	11.1%	1	11.1%	2	22.2%
ときとう	9	7	77.8%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%
ゆのかわ	10	8	80.0%	1	10.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
たかおか	1	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
西堀	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
亀田	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
神山	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
よろこび	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
社協	6	6	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	37	28	75.7%	2	5.4%	3	8.1%	1	2.7%	3	8.1%	2	5.4%
H29以降累計	218	141	64.7%	20	9.2%	21	9.6%	6	2.8%	20	9.2%	19	8.7%

【参考②: 支援内容】

(人)

センター名	支援の必要性あり	支援の内容(重複あり)															
		介護認定申請		介護保険サービス調整		老福サービス調整		ふれあい事業調整		その他サービス調整		民生委員の見守り		権利擁護業務		その他	
		(B)	(B/A)	(C)	(C/A)	(D)	(D/A)	(E)	(E/A)	(F)	(F/A)	(G)	(G/A)	(H)	(H/A)	(I)	(I/A)
あさひ	2	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
こん中央	9	2	22.2%	2	22.2%	1	11.1%	0	0.0%	1	11.1%	1	11.1%	0	0.0%	6	66.7%
ときとう	9	2	22.2%	5	55.6%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%
ゆのかわ	10	3	30.0%	4	40.0%	3	30.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
たかおか	1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
西堀	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
亀田	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
神山	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
よろこび	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
社協	6	6	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	37	14	37.8%	12	32.4%	5	13.5%	0	0.0%	1	2.7%	1	2.7%	0	0.0%	8	21.6%
H29以降累計	218	61	28.0%	76	34.9%	20	9.2%	0	0.0%	7	3.2%	12	5.5%	4	1.8%	58	26.6%

【参考③：見守りの内容】

(人)

センター名	見守りあり (A)	見守りの内容											
		稼働		親族との交流		民生委員等の見守り		近隣・知人との交流		習い事・地域活動		その他	
		数 (B)	割合 (B/A)	数 (C)	割合 (C/A)	数 (D)	割合 (D/A)	数 (E)	割合 (E/A)	数 (F)	割合 (F/A)	数 (G)	割合 (G/A)
あさひ	38	1	2.6%	31	81.6%	0	0.0%	5	13.2%	1	2.6%	0	0.0%
こん中央	89	5	5.6%	60	67.4%	2	2.2%	12	13.5%	6	6.7%	4	4.5%
ときとう	73	0	0.0%	39	53.4%	2	2.7%	24	32.9%	6	8.2%	2	2.7%
ゆのかわ	79	3	3.8%	57	72.2%	0	0.0%	11	13.9%	6	7.6%	2	2.5%
たかおか	3	0	0.0%	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
西堀	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
亀田	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
神山	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
よろこび	27	1	3.7%	17	63.0%	0	0.0%	7	25.9%	2	7.4%	0	0.0%
社協	24	0	0.0%	18	75.0%	0	0.0%	6	25.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	333	10	3.0%	225	67.6%	4	1.2%	65	19.5%	21	6.3%	8	2.4%
H29以降累計	2,524	77	3.1%	1,773	70.2%	51	2.0%	425	16.8%	166	6.6%	32	1.3%

【参考④：見守りの頻度】

(人)

センター名	見守りあり (A)	見守りの頻度									
		毎日		週1回以上		月2回以上		月1回以上		その他	
		数 (B)	割合 (B/A)	数 (C)	割合 (C/A)	数 (D)	割合 (D/A)	数 (E)	割合 (E/A)	数 (F)	割合 (F/A)
あさひ	38	10	26.3%	22	57.9%	2	5.3%	3	7.9%	1	2.6%
こん中央	89	12	13.5%	39	43.8%	11	12.4%	19	21.3%	8	9.0%
ときとう	73	10	13.7%	32	43.8%	10	13.7%	17	23.3%	4	5.5%
ゆのかわ	79	17	21.5%	38	48.1%	8	10.1%	11	13.9%	5	6.3%
たかおか	3	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%
西堀	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
亀田	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
神山	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
よろこび	27	8	29.6%	16	59.3%	2	7.4%	0	0.0%	1	3.7%
社協	24	2	8.3%	9	37.5%	3	12.5%	10	41.7%	0	0.0%
合計	333	59	17.7%	157	47.1%	37	11.1%	61	18.3%	19	5.7%
H29以降累計	2,524	538	21.3%	1,296	51.3%	255	10.1%	329	13.0%	106	4.2%

- ・事業の対象者のうち、26.1% (5,724人) が実態把握対象者となり、そのうち、45.4% (2,597人) については、訪問時に面談し実態把握を行うことができた。
- ・実態把握実施者のうち91.6% (2,379人) は心身ともに健康で支援の必要性がなく、97.2% (2,524人) は親族・近隣・知人等の見守りを受けている状況にあることが明らかになった。
- ・一方、実態把握実施者のうち、8.4% (218人) については、身体機能の低下等により支援が必要な状況であり、介護保険サービス等の利用のための支援を行うことができた。

(4) 実態把握結果(実態把握未実施者)

(人)

センター名	実態把握対象		実態把握未実施者		実態把握が行えなかった理由															
					断りの連絡		連絡票投函後 応答なし		玄関先で終了		家族同居		後日訪問約束		転出・転居・死亡		家不明		その他	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合		
(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/B)	(D)	(D/B)	(E)	(E/B)	(F)	(F/B)	(G)	(G/B)	(H)	(H/B)	(I)	(I/B)	(J)	(J/B)		
あさひ	84	46	54.8%	12	26.1%	7	15.2%	8	17.4%	12	26.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.3%	5	10.9%	
こん中央	224	129	57.6%	26	20.2%	24	18.6%	41	31.8%	17	13.2%	0	0.0%	4	3.1%	14	10.9%	3	2.3%	
ときとう	190	108	56.8%	37	34.3%	16	14.8%	31	28.7%	19	17.6%	1	0.9%	0	0.0%	2	1.9%	2	1.9%	
ゆのかわ	199	118	59.3%	35	29.7%	16	13.6%	41	34.7%	7	5.9%	1	0.8%	1	0.8%	14	11.9%	3	2.5%	
たかおか	9	6	66.7%	1	16.7%	1	16.7%	4	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
西堀	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
亀田	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
神山	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
よろこび	59	32	54.2%	10	31.3%	7	21.9%	6	18.8%	8	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	
社協	37	8	21.6%	0	0.0%	1	12.5%	4	50.0%	1	12.5%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	1	12.5%	
合計	802	447	55.7%	121	27.1%	72	16.1%	135	30.2%	64	14.3%	2	0.4%	6	1.3%	32	7.2%	15	3.4%	
H29以降累計	5,724	3,127	54.6%	612	19.6%	656	21.0%	824	26.4%	662	21.2%	29	0.9%	41	1.3%	170	5.4%	133	4.3%	

- ・実態把握対象者のうち、54.6% (3,127人) は実態把握を行うことができなかった。
- ・実態把握を行うことができなかった理由は、玄関先で終了、家族同居、連絡票投函後応答なし、断りの連絡の順に多かった。玄関先で終了および断りの連絡の1,436人については、簡単な状況確認とセンターの周知を行うことができたが、656人については、連絡票を投函しても応答がなかった。
- ・高齢者見守りネットワーク事業は、センターがアウトリーチを行い、支援が必要な人を早期に発見し、支援に結び付けることを目的に実施しており、平成29年度から令和2年度に実施した今クールで218人に支援を行うことができたことは、本事業の効果と評価できる一方、支援を必要としても自ら相談等を行うことができない高齢者が一定程度存在しているということでもある。
- ・令和2年度で市内全域の実態把握を終了したが、引き続き、75歳以上単身世帯を対象とした実態把握を繰り返し実施することで、今回、実態把握を行うことができなかった者も含め、改めて支援が必要な人の早期発見に努める必要がある。

5 保健福祉サービス等利用調整

(1) 利用調整件数の推移

(件)

センター名	調整数	(再)除排雪
あさひ	86	40
こん中央	98	42
ときとう	102	49
ゆのかわ	110	65
たかおか	88	53
西堀	44	29
亀田	105	82
神山	104	86
よろこび	52	39
社協	431	61
合計	1,220	546
R1実績	1,255	529

(2) モニタリング実施状況

(件)

センター名	対象者数	実施数	実施率
あさひ	20	20	100.0%
こん中央	16	16	100.0%
ときとう	24	24	100.0%
ゆのかわ	13	13	100.0%
たかおか	13	13	100.0%
西堀	9	9	100.0%
亀田	14	14	100.0%
神山	10	10	100.0%
よろこび	10	10	100.0%
社協	33	33	100.0%
合計	162	162	100.0%
R1実績	98	98	100.0%

6 住民に対する広報・啓発活動

(1) 住民に対する広報・啓発回数

(回)

センター名	広報紙の発行	パンフレット等の配布	出前講座講師派遣	認知症サポーター養成講座
あさひ	3	42	7	0
こん中央	3	12	4	2
ときとう	2	18	11	10
ゆのかわ	2	3	9	5
たかおか	2	6	10	2
西堀	3	9	3	1
亀田	3	1	2	4
神山	2	13	3	3
よろこび	2	11	6	2
社協	2	36	28	0
合計	24	151	83	29
R1実績	24	160	155	26

(2) 対象者数(広報紙発行・配布分は除く。以下同様。)

(人)

センター名	対象者数						
		一般市民	民生委員	町会役員	在宅福祉委員	医療機関職員	その他
あさひ	738	123	294	122	48	28	123
こん中央	373	46	100	9	9	0	209
ときとう	578	110	23	43	9	12	381
ゆのかわ	595	95	28	25	25	0	422
たかおか	408	137	18	16	55	0	182
西堀	458	107	122	208	16	0	5
亀田	118	15	44	0	0	0	59
神山	602	96	131	163	19	12	181
よろこび	418	227	24	13	10	0	144
社協	518	425	70	0	0	0	23
合計	4,806	1,381	854	599	191	52	1,729
R1実績	7,915	4,021	518	657	479	328	1,912

(3) 総合相談にかかる広報・啓発回数

(回, 人)

センター名	センター業務		介護保険制度		保健福祉サービス		認知症	
	回数	対象者数	回数	対象者数	回数	対象者数	回数	対象者数
あさひ	8	49	3	34	3	37	18	247
こん中央	3	36	1	13	4	27	8	146
ときとう	3	66	2	4	13	216	18	396
ゆのかわ	11	382	7	314	2	28	7	259
たかおか	11	285	1	17	0	0	9	246
西堀	3	52	1	0	0	0	3	38
亀田	6	53	2	17	1	0	4	57
神山	9	266	1	10	0	0	9	239
よろこび	6	164	2	34	4	41	2	80
社協	18	246	8	119	9	100	19	250
合計	78	1,599	28	562	36	449	97	1,958
R1実績	135	3,964	52	1,424	73	1,259	115	2,914

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、地域の集まりの多くが中止されたことから、出前講座・講師派遣の回数が大幅に減少した。
- ・対象者では、令和元年度と比べ、一般市民が約35%、在宅福祉委員が約40%となっており、減少幅が大きかった。
- ・これまでの広報・啓発活動の効果もあり、令和2年度の相談延件数は増加しているが、令和4年度からのセンターの機能拡充に向け、地域住民や地域の関係者への広報・啓発がより重要になる。令和3年度についても、出前講座等の開催は減少することが見込まれることから、コロナ禍においても効果的に広報・啓発を行うため、実施方法を工夫する必要がある。

【包括的支援事業】権利擁護業務

1 権利擁護相談対応状況

(1) 権利擁護業務対応状況

(件)

センター名	対象者数		実対応回数		延対応回数※2		1件あたりの対応回数 実対応回数/対象者数			(参考) 権利擁護事例に 占める虐待事例 の割合
		(内) 虐待事例※1		(内) 虐待事例		(内) 虐待事例	(内) 虐待事例以外	(内) 虐待事例		
あさひ	18	5	125	28	128	30	6.9	7.5	5.6	27.8%
こん中央	50	8	917	160	973	175	18.3	18.0	20.0	16.0%
ときとう	20	5	272	110	299	132	13.6	10.8	22.0	25.0%
ゆのかわ	31	4	403	46	423	50	13.0	13.2	11.5	12.9%
たかおか	49	5	789	69	835	71	16.1	16.4	13.8	10.2%
西堀	37	7	331	29	340	32	8.9	10.1	4.1	18.9%
亀田	48	22	677	188	721	215	14.1	18.8	8.5	45.8%
神山	48	7	648	70	770	83	13.5	14.1	10.0	14.6%
よろこび	30	2	330	35	346	35	11.0	10.5	17.5	6.7%
社協	12	5	313	87	361	114	26.1	32.3	17.4	41.7%
合計	343	70	4,805	822	5,196	937	14.0	14.6	11.7	20.4%
R1実績	346	81	4,873	747	5,201	805	14.1	15.8	9.2	23.4%

※1 高齢者虐待と判断した事例だけでなく、高齢者虐待疑いとして対応した事例も含む。

※2 複数体制での対応を行った場合に、延対応回数へ計上している。

(2) 医療機関とのネットワーク構築

(件)

センター名	個別ケース 支援連携数	ネットワーク 構築機関数
あさひ	2	2
こん中央	33	23
ときとう	12	9
ゆのかわ	15	15
たかおか	26	18
西堀	13	12
亀田	14	10
神山	22	13
よろこび	16	14
社協	7	7
合計	160	123
R1実績	156	117

- ・権利擁護業務の対象者数は、令和元年度とほぼ同数だったが、虐待事例はやや減少している。また、1件あたりの対応回数は、虐待事例では令和元年度の9.2回から11.7回に増加しているが、その他の困難事例では、15.8回から14.6回にやや減少している。困難事例を早期に把握し、適切な支援を行うことで、高齢者虐待を防止することが可能となることから、今後も早期発見・早期介入を意識した支援が重要になると考えられる。
- ・なお、対応状況については、現在の業務実績報告の様式では十分な分析・評価を行うことが難しいため、現在、社会福祉士部会において見直しを行っている。
- ・医療機関とのネットワーク構築状況についても、令和元年度とほぼ同様である。総合病院等、十分な連携がとれている医療機関がある一方、特に地域のクリニックとの連携に課題を抱えるケースも多い。令和2年度は社会福祉士部会において、センターとクリニックの連携状況の評価や、連携できない要因の検討を行った。その結果、センターもクリニックもお互いのことを十分理解できていないのではないかという仮説を立て、今後は、函館市医療・介護連携支援センターと協働して対応できることがないか検討するため、懇談会等を開催することとした。

2 スキルアップ対策

(1) 研修会や事例検討会の開催, 参加

(回)

センター名	高齢者虐待	困難事例	成年後見制度 消費者被害
あさひ	0	2	1
こん中央	1	3	1
ときとう	2	1	3
ゆのかわ	1	0	0
たかおか	0	1	2
西堀	1	1	0
亀田	0	0	1
神山	2	1	1
よろこび	0	0	0
社協	3	0	1
合計	10	9	10
R1実績	29	17	63

- ・職員のスキルアップ対策では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、他機関を参集する研修会や事例検討会が開催できなかったほか、外部研修の参加も限られたことが影響し、回数が大幅に減少していると考えられる。
- ・令和2年度に実施した、函館市地域包括支援センター事業評価では、社会福祉士以外の職種では、権利擁護業務を行ううえで必要な知識・遂行力が不十分な職員がいたことから、研修参加等のOFF-JTのみならず、職種に関わらず経験を積める体制を作るなどのOJTを行う必要がある。
- ・住民等に対する広報・啓発活動についても、地域の集まりの多くが中止されたことから、出前講座・講師派遣が大幅に減少した。一方、広報紙・パンフレットの配布回数が増加しており、特に高齢者虐待防止および成年後見制度については、対象者数を一定程度維持するなど、コロナ禍においても広報・啓発を行うことができたと評価できる。

3 住民等に対する広報・啓発活動

(回, 人)

センター名	高齢者虐待防止			成年後見制度			消費者被害防止		
	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレット配布	対象者数	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレット配布	対象者数	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレット配布	対象者数
あさひ	1	5	158	1	0	4	3	6	103
こん中央	0	2	17	2	1	15	0	7	77
ときとう	1	15	255	1	15	255	1	15	255
ゆのかわ	2	0	104	0	1	3	1	1	24
たかおか	2	4	225	0	4	101	0	6	173
西堀	0	3	74	0	0	0	0	4	143
亀田	0	1	0	0	1	0	0	1	0
神山	0	2	77	2	2	147	0	2	77
よろこび	1	5	90	0	3	79	1	0	28
社協	0	17	226	0	17	226	0	1	0
合計	7	54	1,226	6	44	830	6	43	880
R1実績	22	35	1,367	21	39	1,068	25	31	1,457

【包括的支援事業】包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

1 包括的・継続的ケアマネジメント支援体制構築状況

(1) ケアマネジメント研修(合同)事業実績

開催日時	開催場所	内 容	参加者数	
				(再) 介護支援 専門員
令和2年9月24日(木) 14:00~16:30 令和2年9月25日(金) 9:30~12:00	函館市亀田交流プラザ	講演: アセスメントに役立つICFの活用 講師: 西尾市地域包括支援センター西尾 センター長 藤田 正之 氏	195人	136人

※同内容の研修を2回開催することで、業務の都合に合わせて参加日を選択できるようにした。

(2) ケアマネジメント研修(圏域)事業実績

センター名	開催日時	開催場所	内 容	参加者数	参加事業所数
あ さ ひ	令和2年12月17日(木) 令和2年12月18日(金) 18:00~19:45	デイサービスセンター あさひ	【事例検討】 アセスメントを進めるうえでICFを活用しよう	19人	11事業所
こ ん 中 央	※ 令和2年7月15日(水) 15:30~17:15	サン・リフレ函館	【研修会】 事例を用いて、実際にICFシートを作成しよう!	37人	20事業所
	令和2年12月16日(水) 14:00~15:30	サン・リフレ函館	【懇談会】 コロナ流行前後のICFの変化について 函館におけるコロナウイルスに関する情報交換等	19人	12事業所
と き と う	※ 令和2年7月15日(水) 15:30~17:15	サン・リフレ函館	【研修会】 事例を用いて、実際にICFシートを作成しよう!	37人	20事業所
	令和2年11月10日(火) 13:30~15:00	函館市中央図書館	【研修会】 ICFの説明, 事例紹介, ICFシートの作成, 課題の対応策の検討	19人	14事業所
	令和3年2月12日(金) 10:00~11:30	函館市中央図書館	【懇談会】 「ゴミ屋敷, 支援拒否, 受診拒否, セルフネグレクト」などの利用者 への関わりについて考える	12人	11事業所
ゆ の か わ	※ 令和3年3月23日(火) 10:00~11:30	見晴公園緑のセンター	【研修会】 事例を通して、多職種とICFの視点を考える	21人	10事業所
た か お か	※ 令和3年3月23日(火) 10:00~11:30	見晴公園緑のセンター	【研修会】 事例を通して、多職種とICFの視点を考える	21人	10事業所
西 堀	令和2年8月21日(金) 14:00~16:00	函館市亀田交流プラザ	【研修会】 ICFの視点に立ち自立支援に即したケアマネジメントの必要性を 理解する	8人	2事業所
	令和3年3月15日(月) 14:00~17:00	函館市亀田交流プラザ	【事例検討会】 ICFの視点でプランの総合的な課題まで	14人	7事業所
神 山	令和2年12月18日(金) 13:30~14:50	函館市亀田交流プラザ	【研修会】 8050問題とは・・・ ICFの活用	5人	4事業所
よ ろ こ び	令和2年10月13日(火) 令和2年10月20日(火) 18:00~19:30	ハートTOハート北浜	【懇談会】 ICFを活用してケアプランを作ろう	34人	17事業所
	令和2年10月27日(火) 14:00~15:30	桔梗町会館	【事例検討】 障がい福祉と高齢福祉の連携のために	10人	9事業所
社 協	令和3年3月19日(金) 15:00~16:30	函館市戸井支所	【事例検討】 ICFを用いた事例検討	12人	5事業所

※他センターとの合同開催

(3) 目標数値の達成率

(回)

	あさひ	こん中央	ときとう	ゆのかわ	たかおか	西 堀	亀 田	神 山	よるこび	社 協	合 計
実施回数	4	4	5	3	3	4	2	3	4	3	35
目標数値	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30
目標数値達成率	133.3%	133.3%	166.7%	100.0%	100.0%	133.3%	66.7%	100.0%	133.3%	100.0%	116.7%

(4) その他の活動実績

センター名	活動内容	実施回数	参加者数	参加事業所数
あさひ	居宅介護支援事業所との意見交換 (居宅介護支援事業所の体制, ケアマネジメント研修の案内, リハビリ職との連携について等)	9回	15人	9事業所
	居宅介護支援事業所との意見交換 (ケアマネジメント業務を実践するうえで不安なこと)	1回	21人	9事業所
	センター内研修の伝達 (身寄りがいない方の財産管理, 相続, 遺言)	4回	5人	4事業所
こん中央	居宅介護支援事業所への聞き取り (コロナ禍における地域課題, ケアマネジメントの実践に必要なこと)	14回	13人	13事業所
	居宅介護支援事業所へのアンケート調査 (介護支援専門員の経験年数・主任介護支援専門員資格の有無, 民生委員とケアマネジャーの連携ガイドの活用状況, コロナ禍における業務への不安等)	1回	32人	15事業所
ときとう	居宅介護支援事業所への研修案内の送付	1回	—	10事業所
	居宅介護支援事業所への社会資源についての情報提供	1回	—	10事業所
西 堀	居宅介護支援事業所との意見交換 (ケアマネジメント研修について, 民生委員との連携について, 個別ケースを検討する地域ケア会議について)	11回	14人	14事業所
	主任介護支援専門員との懇談会 (ケアマネジメント研修の企画について)	2回	8人	8事業所
亀 田	居宅介護支援事業所との情報共有シートによる情報共有 (ICFの活用, 民生委員とケアマネジャーの連携ガイドの活用等)	1回	46人	15事業所

- ・平成30年度に主任介護支援専門員部会と市で策定した『ケアマネジメント研修に関する基本方針』に基づき、「多くの介護支援専門員がICFの視点に立ち、本人や地域の強みを活かしたケアマネジメントを行うことができる」ことを目的に、合同研修、圏域研修を開催した。なお、基本方針の目的は、5年程度の期間で達成することを想定している。
- ・合同研修は、「ICFの考え方を活用したアセスメントができるようになる」ことを目標に、令和元年度の研修の振り返りや演習を交え実施した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため出席を見合わせた事業所もあり、介護支援専門員の参加者数は、令和元年度の166人から136人に減少し、市内の介護支援専門員の約45%にとどまった。ただし、圏域研修において、合同研修の振り返りを実施したセンターもあり、欠席者のフォローも行われた。
- ・研修実施後のアンケートでは、82.2%がICFを活用したアセスメントについて、理解した・おおむね理解したと回答したが、アセスメントを行う際にICFの考え方を活用できると回答したのは61.9%であり、ケアマネジメントの実践に活用できるようにするためには、研修を継続するほか、個別支援においても意識的に働きかける必要があると考えられる。
- ・圏域研修については、合同研修の振り返りを実施したセンターが多かったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため研修を開催できないセンターもあった。また、研修を実施したセンターにおいても、計画より少ない回数や小規模なものとなった。センターによっては、居宅介護支援事業所への個別訪問や電話、アンケートによる意見交換や課題抽出、情報提供など、研修以外の手法で支援を継続しており、令和3年度についても、状況に応じ工夫して取組む必要がある。

2 介護支援専門員への個別支援

※ 令和2年度から業務実績報告の様式を変更したため、前年度実績の記載はない。

(1) 対応状況

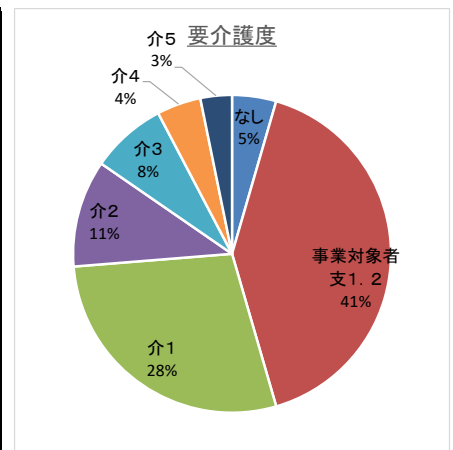
(人・か月・件)

センター名	対象者数	対応期間(平均)	最終状況	
			最終	他業務へ移行
あさひ	17	2.2	16	1
こん中央	24	1.7	23	1
ときとう	7	2.0	7	0
ゆのかわ	26	2.2	25	1
たかおか	11	1.6	11	0
西堀	31	1.2	31	0
亀田	10	1.4	10	0
神山	19	2.1	18	1
よろこび	9	1.1	6	3
社協	2	1.0	2	0
合計	156	1.7	149	7

(2) 介護支援専門員の支援対象者の要介護度

(人)

センター名	なし	事業対象者	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5
あさひ	0	0	0	3	6	1	3	3	1
こん中央	0	1	2	6	10	4	1	0	0
ときとう	0	1	0	1	3	1	0	1	0
ゆのかわ	2	1	4	7	5	1	2	1	3
たかおか	0	1	1	2	5	0	2	0	0
西堀	3	6	4	12	3	1	0	2	0
亀田	1	1	3	1	2	1	1	0	0
神山	0	0	2	2	6	6	2	0	1
よろこび	1	1	0	1	4	1	1	0	0
社協	0	0	1	0	0	1	0	0	0
合計	7	12	17	35	44	17	12	7	5

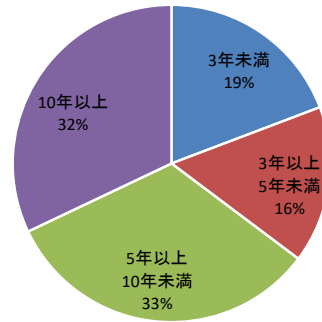


(3) 介護支援専門員の状況

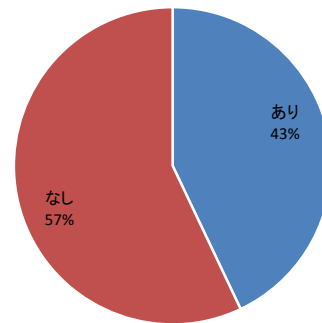
(人)

センター名	経験年数				主任CM資格	
	3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	あり	なし
あさひ	8	0	7	2	3	14
こん中央	1	5	6	12	15	9
ときとう	0	2	2	3	2	5
ゆのかわ	7	3	7	9	11	15
たかおか	1	0	4	6	4	7
西堀	4	5	13	9	16	15
亀田	2	2	3	3	5	5
神山	6	6	5	2	6	13
よろこび	1	2	3	3	3	6
社協	0	0	1	1	2	0
合計	30	25	51	50	67	89
市内CM数 に占める割合	56.6%	69.4%	48.6%	40.7%	60.9%	43.0%
市内CM数 (※)	53	36	105	123	110	207
構成割合	16.7%	11.4%	33.1%	38.8%	34.7%	65.3%

介護支援専門員の経験年数



主任介護支援専門員の資格の有無



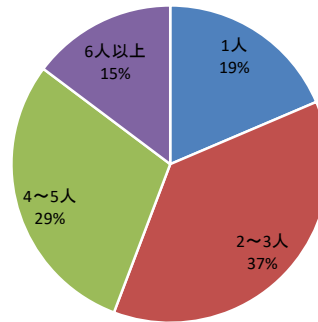
※居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員についての調査結果における令和2年4月1日現在の介護支援専門員数

(4) 介護支援専門員が所属する事業所の状況

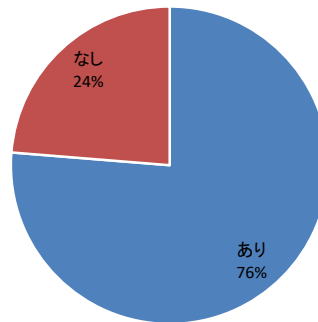
(件)

センター名	CM数				主任CMの有無	
	1人	2~3人	4~5人	6人以上	あり	なし
あさひ	2	7	7	1	11	6
こん中央	6	4	13	1	22	2
ときとう	1	3	3	0	5	2
ゆのかわ	3	12	8	3	20	6
たかおか	3	3	2	3	8	3
西堀	3	14	7	7	25	6
亀田	2	4	2	2	8	2
神山	6	5	3	5	14	5
よろこび	3	4	1	1	4	5
社協	0	2	0	0	2	0
合計	29	58	46	23	119	37
市内事業所数 に占める割合	70.7%	107.4%	219.0%	383.3%	167.6%	71.2%
市内事業所数 (※)	41	54	21	6	71	52
構成割合	33.6%	44.3%	17.2%	4.9%	57.7%	42.3%

介護支援専門員の数



主任介護支援専門員の有無



※居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員についての調査結果における令和2年4月1日現在の事業所数

(5) 相談者(重複あり)

(人)

センター名	対象者数	CM	事業所 管理者	サービス 事業所	対象者 本人	対象者 家族	医療 機関	その他	
あさひ	17	9	0	0	0	4	0	5	民生委員, 在宅福祉委員, キーパーソンの職場の上司
こん中央	24	16	0	1	1	1	0	5	民生委員, 知人, 郵便局
ときとう	7	4	0	0	0	0	0	3	町会長, 在宅福祉委員, 警察
ゆのかわ	26	14	2	0	2	7	1	1	知人
たかおか	11	3	0	0	1	3	0	4	町会長, 家族の職場の上司, 社会福祉協議会, センターが他業務で把握
西堀	31	23	2	1	0	1	0	4	民生委員, 地域住民
亀田	10	5	0	0	0	1	1	3	地域住民, センターが他業務で把握
神山	19	7	2	0	1	7	1	2	民生委員, 交番
よろこび	9	5	0	0	2	1	0	1	地域住民
社協	2	1	0	0	0	1	0	0	
合計	156	87	6	2	7	26	3	28	
対象者数に占める割合	100.0%	55.8%	3.8%	1.3%	4.5%	16.7%	1.9%	17.9%	

(6) 支援に至った要因(重複あり)

(件)

センター名	対象者数	介護支援専門員の要因									介護支援専門員の支援対象者の要因				その他
		ケアプラン作成	関連制度理解	サービス調整	地域連携 社会資源	多職種連携	医療連携	CM自身の問題	事業所の問題	対象者の問題	対象者家族の問題	家族関係			
あさひ	17	17	6	3	0	7	1	3	7	2	5	4	2	0	1
こん中央	24	16	7	4	2	7	0	1	1	0	13	13	7	7	7
ときとう	7	2	2	0	0	0	0	0	1	0	7	6	0	3	0
ゆのかわ	26	21	4	6	3	2	0	3	10	1	10	7	4	1	2
たかおか	11	8	3	1	0	2	1	0	6	1	5	3	2	2	0
西堀	31	28	4	12	1	5	2	2	6	1	11	7	3	1	2
亀田	10	8	2	4	2	2	2	2	2	1	3	3	1	1	3
神山	19	18	9	0	2	4	6	6	14	1	17	14	9	7	2
よろこび	9	7	0	1	0	2	0	2	3	1	7	7	0	2	0
社協	2	2	1	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
合計	156	127	38	32	11	31	12	19	52	8	78	64	28	24	17
対象者数に占める割合	100.0%	81.4%	24.4%	20.5%	7.1%	19.9%	7.7%	12.2%	33.3%	5.1%	50.0%	41.0%	17.9%	15.4%	10.9%

(7) 支援内容(重複あり)

(件)

センター名	対象者数	CMへの支援				事業所管理者への支援				チームの 一員として 支援	地域ケア 会議開催	その他
		情報 提供	助言 指導	多機関 との 連携支援	情報 提供	助言 指導	多機関 との 連携支援					
あさひ	17	17	5	11	6	3	1	3	0	0	1	0
こん中央	24	7	7	19	13	0	0	0	0	0	1	0
ときとう	7	7	4	4	3	0	0	0	0	0	1	0
ゆのかわ	26	22	14	18	2	2	0	1	0	7	0	1
たかおか	11	11	0	9	5	0	0	0	0	1	1	0
西堀	31	28	16	15	5	2	0	2	0	3	1	0
亀田	10	10	7	4	3	1	1	0	0	1	1	1
神山	19	19	7	15	13	5	3	3	2	1	0	0
よろこび	9	9	4	7	3	1	1	0	1	0	1	0
社協	2	2	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0
合計	156	132	64	104	53	15	6	10	3	13	7	2
対象者数に 占める割合	100.0%	84.6%	41.0%	66.7%	34.0%	9.6%	3.8%	6.4%	1.9%	8.3%	4.5%	1.3%

- ・ 支援をした介護支援専門員の経験年数は、5年以上10年未満および10年以上が多いが、市内介護支援専門員数に占める割合をみると、3年以上5年未満が69.4%、3年未満が56.6%と多くなっており、経験年数が短い介護支援専門員ほど支援を必要としていると考えられる。
- ・ 主任介護支援専門員資格の有無では、市内の介護支援専門員に占める割合をみると、資格ありが60.9%と多い。主任介護支援専門員は、事業所内でも指導的な役割を担っていること、困難性を高いケースを担当している割合が多いと推測されることから、事業所内での相談により問題が解決されない場合に、センターに支援を求めていると考えられる。
- ・ 相談者は、介護支援専門員が最も多く、半数以上となっている。また、介護支援専門員の対応に疑問や不満を持つ支援対象者の家族からの相談も約15%ある。なお、ケアマネジメント研修において、「ICFの視点に立ち、本人や地域の強みを活かしたケアマネジメントを行うことができる」介護支援専門員を増やすことを目指していること、支援対象者の約半数が事業対象者・要支援者で、センターも一定の関わりを有するケースであることから、相談を待つだけでなく、介護予防ケアマネジメント業務をはじめとする他業務で、介護支援専門員の課題を把握した場合に、センター自ら支援を行う姿勢も必要であると考えられる。
- ・ 支援に至った要因としては、認知症や精神疾患による問題行動や支援拒否、不適切な要求等、支援対象者の問題が41.0%と最も多いが、対人援助技術や支援の不足、過剰な支援等の介護支援専門員自身の問題も33.3%を占める。令和2年度から業務実績報告書の様式を変更したため、まだ十分な事例の集積ができていないが、主任介護支援専門員部会において、支援に至った要因や支援内容の集計・分析を行い、介護支援専門員が抱える問題とその要因、必要な支援を明らかにすることで、より適切かつ効率的に支援を行う必要がある。

【包括的支援事業】地域ケア会議推進事業

1 地域ケア会議開催状況

(1) 実施回数と目標数値の達成率(実数)

(回)

センター名	個別ケースの検討			地域課題の検討			合計		
	実施回数	目標数値	目標数値の達成率	実施回数	目標数値	目標数値の達成率	実施回数	目標数値	目標数値の達成率
あさひ	5	5	100.0%	2	2	100.0%	7	7	100.0%
こん中央	6	6	100.0%	3	3	100.0%	9	9	100.0%
ときとう	8	6	133.3%	3	3	100.0%	11	9	122.2%
ゆのかわ	7	7	100.0%	5	4	125.0%	12	11	109.1%
たかおか	4	6	66.7%	0	3	0.0%	4	9	44.4%
西堀	5	5	100.0%	1	3	33.3%	6	8	75.0%
亀田	6	7	85.7%	2	4	50.0%	8	11	72.7%
神山	9	7	128.6%	4	4	100.0%	13	11	118.2%
よろこび	6	6	100.0%	3	3	100.0%	9	9	100.0%
社協	2	3	66.7%	2	2	100.0%	4	5	80.0%
合計	58	58	100.0%	25	31	80.6%	83	89	93.3%
R1実績	56	58	96.6%	40	31	129.0%	96	89	107.9%

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、予定していた地域ケア会議が行えず、目標数値を達成できないセンターが半数近くあった。

・個別ケースの検討を行う地域ケア会議は、ほとんどの会議で個別課題解決機能とネットワーク構築機能を有しており、地域で高齢者を支えるためのネットワーク構築の場として定着したと考えられる。

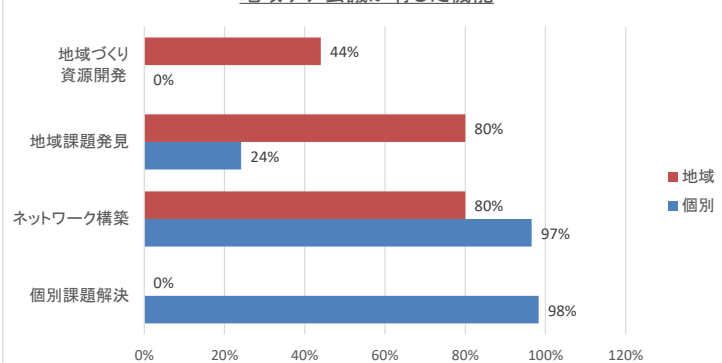
・地域課題の検討を行う地域ケア会議は、回数が減少したほか、参加者数も減らして実施した会議が多く、地域課題の共有にとどまる会議が多かったが、多世代や高齢者分野以外の関係機関を巻き込み、新たな助け合いの仕組みづくりまで到達した会議も複数あったことは評価できる。

(2) 地域ケア会議が有した機能(実数・重複あり)

(回)

センター名	個別ケースの検討				地域課題の検討				合計			
	個別課題解決	ネットワーク構築	地域課題発見	地域づくり資源開発	個別課題解決	ネットワーク構築	地域課題発見	地域づくり資源開発	個別課題解決	ネットワーク構築	地域課題発見	地域づくり資源開発
あさひ	5	5	1	0	0	2	2	0	5	7	3	0
こん中央	6	6	1	0	0	2	3	1	6	8	4	1
ときとう	8	8	2	0	0	3	3	1	8	11	5	1
ゆのかわ	6	7	7	0	0	5	5	3	6	12	12	3
たかおか	4	4	3	0	0	0	0	0	4	4	3	0
西堀	5	5	0	0	0	1	1	0	5	6	1	0
亀田	6	5	0	0	0	2	1	0	6	7	1	0
神山	9	8	0	0	0	3	3	1	9	11	3	1
よろこび	6	6	0	0	0	2	0	3	6	8	0	3
社協	2	2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2
合計	57	56	14	0	0	20	20	11	57	76	34	11
R1実績	55	51	13	0	0	34	26	23	55	85	39	23

地域ケア会議が有した機能



(3) 地域ケア会議の参集者

① 個別ケースの検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(人)

センター名	開催回数	本人	家族	近隣住人	民生委員	町会役員	在宅福祉	CM	介護事業所	医療機関	行政	その他	合計
あさひ	5	0	6	2	3	2	2	2	3	0	0	1	21
こん中央	6	0	1	1	1	0	1	6	9	3	2	5	29
ときとう	8	0	3	6	5	3	0	8	4	2	7	5	43
ゆのかわ	7	0	3	1	6	1	0	2	2	3	6	8	32
たかおか	4	0	0	0	2	1	0	3	0	0	3	3	12
西堀	5	1	0	3	5	0	0	6	4	0	2	4	25
亀田	6	1	3	4	1	0	0	5	5	0	4	5	28
神山	9	5	3	3	8	1	1	7	8	1	1	5	43
よろこび	6	2	3	3	5	3	2	5	9	0	3	5	40
社協	2	0	0	0	2	0	0	1	1	4	2	8	18
合計	58	9	22	23	38	11	6	45	45	13	30	49	291
R1実績	54	11	23	11	39	16	11	40	48	27	31	47	304

*医療機関の内訳

おおてまちクリニック(看護師, 事務員), 国立函館病院(看護師, 相談員, 管理職), 市立函館恵山病院(看護師, 栄養士), 函館記念病院(相談員), 函館渡辺病院(看護師, 相談員)

*行政の内訳

高齢福祉課, 生活支援課, 亀田福祉課, 湯川福祉課, 障がい保健福祉課, 東部保健事務所, 恵山支所市民福祉課, 土木部道路管理課, 環境部清掃事業課

*その他の内訳

障がいサービス事業所, 函館薬剤師会, 薬局, 消防署, 中央警察署, 西警察署, 駐在所・交番, 住宅都市施設公社, 法テラス函館事務所, 北海道社会福祉協議会渡島地区事務所, 後見人, 保佐人, 社会福祉士事務所, 銀行, サービス付き高齢者向け住宅, 住宅管理会社, 葬儀屋, 写真館, 大家, ボランティア団体, サークル責任者, 友人・知人

② 地域課題の検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(人)

センター名	開催回数	地域住民	民生委員	町会役員	在宅福祉	CM	サービス事業所	医療機関	行政	その他	合計
あさひ	2	1	2	4	18	0	0	0	0	0	25
こん中央	3	10	2	16	2	1	2	0	0	3	36
ときとう	3	2	8	6	10	0	0	0	0	15	41
ゆのかわ	5	16	4	9	9	3	4	4	1	16	66
たかおか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西堀	1	0	2	4	0	4	0	0	0	2	12
亀田	2	0	21	3	0	1	0	0	3	4	32
神山	4	0	2	3	11	9	0	3	4	8	40
よろこび	3	0	3	7	0	0	3	0	0	22	35
社協	2	0	3	11	0	0	3	0	4	5	26
合計	25	29	47	63	50	18	12	7	12	75	313
R1実績	40	74	108	137	83	43	93	32	34	196	800

*医療機関の内訳

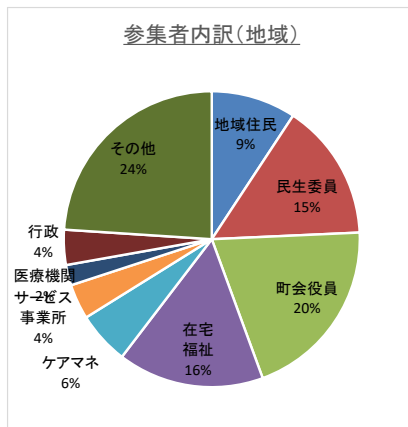
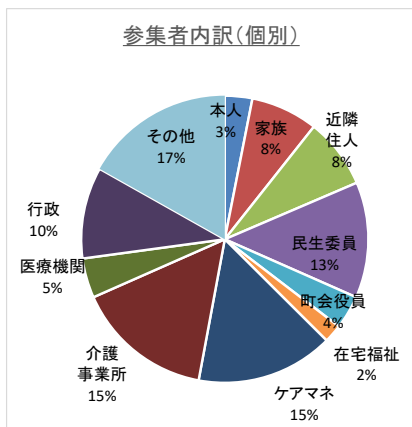
国立函館病院(看護師, 理学療法士, 管理職, 事務員), コンテ日吉歯科医院(歯科医師), 函館脳神経外科病院(相談員), 函館稜北病院(看護師), 函館赤十字病院(看護師, 相談員)

*行政の内訳

地域包括ケア推進課, 亀田福祉課, 戸井支所市民福祉課, 市民部男女共同参画課

*その他の内訳

障がいサービス事業所, 函館市医療・介護連携支援センター, 函館市在宅歯科医療連携室, 函館社会福祉協議会, 北美原小学校(教員, PTA), 日吉が丘小学校(教員), 日吉北小学校(教員), 万年橋小学校(教員), 大谷高等学校(教員), 有斗高等学校(生徒, 教員), 函館看護専門学校(学生), 北海道教育大学函館校(名誉教授), 放課後児童クラブ, 薬局, 住宅型有料老人ホーム, マンション管理会社, マンション管理組合, 自主活動グループリーダー, その他民間事業所, ボランティア団体, からのサポーター



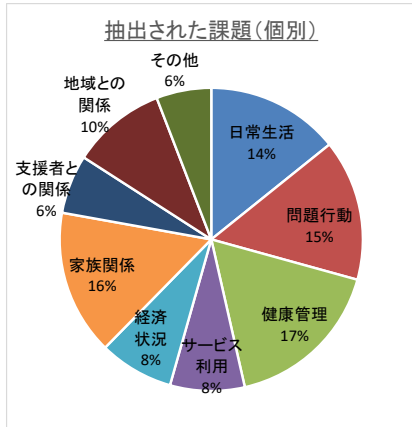
・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、参集者を最低限にした会議が多く、特に地域課題の検討を行う地域ケア会議では、1回あたりの平均参加者数が、令和元年度の20人から12人に減少した。参集者の内訳では、業務上人の集まる場面への参加が制限された、介護支援専門員や介護サービス事業所、医療機関の参加者が少なくなっており、やむを得ないと考えられる。

・令和3年度についても、同様の状況になることも考えられるが、地域づくり・資源開発には、多様な機関が協働することが求められることから、地域ケア会議以外の手法も活用しながら、工夫して取組を継続することが必要である。

(4) 地域ケア会議で抽出された課題

① 個別ケースについての課題(延数・重複あり) (件)

センター名	開催回数	日常生活	問題行動	健康管理	サービス利用	経済状況	家族関係	支援者との関係	地域との関係	その他
あさひ	5	4	4	2	2	0	0	1	1	3
こん中央	6	4	5	5	2	4	6	2	4	5
ときとう	8	7	8	7	6	1	6	2	5	1
ゆのかわ	7	3	3	2	0	2	5	1	2	0
たかおか	4	2	2	1	1	3	2	1	1	0
西 堀	5	3	3	5	3	1	3	1	3	1
亀 田	6	3	3	5	3	3	4	4	1	0
神 山	9	5	4	7	0	2	5	1	3	3
よろこび	6	3	4	5	0	3	4	0	2	1
社 協	2	0	0	2	2	0	2	2	2	0
合 計	58	34	36	41	19	19	37	15	24	14
R1実績	56	45	30	48	23	27	38	17	23	15



・個別ケースの検討を行う地域ケア会議で抽出された課題は、令和元年度とほぼ同様の傾向で、適切に受診や薬物管理ができていないなどの健康管理の問題や、障がいをもつ家族や疎遠な家族などの家族関係の問題が多く抽出された。

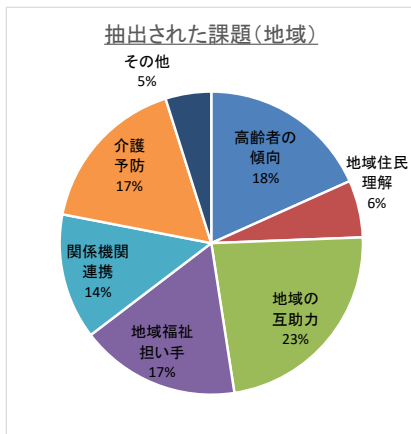
・また、令和元年度と比べ、認知症や精神疾患による問題行動が増加している。

・1回の会議で平均4種類の課題について検討しており、複合的な課題を抱えた、いわゆる困難事例の支援に地域ケア会議を有効に活用していると考えられる。

②地域課題(延数・重複あり)

(件)

センター名	開催回数	高齢者の傾向	地域住民理解	地域の互助力	地域福祉担い手	関係機関連携	支え合い介護予防	その他
あさひ	2	2	2	1	0	0	0	0
こん中央	3	2	0	2	2	0	3	1
ときとう	3	2	2	2	2	2	1	0
ゆのかわ	5	5	0	5	1	5	3	0
たかおか	0	0	0	0	0	0	0	0
西堀	1	1	0	1	1	1	1	0
亀田	2	1	0	2	2	1	2	2
神山	4	2	1	2	1	2	0	1
よろこび	3	0	0	2	3	0	2	0
社協	2	0	0	2	2	0	2	0
合計	25	15	5	19	14	11	14	4
R1実績	40	23	6	34	31	22	29	1



・地域課題の検討を行う地域ケア会議で抽出された地域課題は、令和元年度同様、地域の互助力の低下が多かったが、新型コロナウイルス感染症の影響で地域活動が縮小・休止されたことに伴い、閉じこもり高齢者の増加等の高齢者の傾向や、地域の支え合い、介護予防活動に関する課題も多く抽出された。

(5) 地域ケア会議で検討された解決策

① 個別ケースの検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(件)

センター名	開催回数	見守り体制 (地域)	見守り体制 (関係機関)	サービス等 調整	サービス 拡充	周知	家族への 支援	健康管理 支援	ネットワーク (関係機関)	ネットワーク (地域)	地域づくり	その他
あさひ	5	5	2	0	1	0	2	0	2	3	0	0
こん中央	6	2	5	5	0	1	3	3	6	2	1	3
ときとう	8	7	8	2	0	4	2	0	8	4	0	0
ゆのかわ	7	7	6	1	0	2	3	2	7	2	0	0
たかおか	4	3	3	2	0	1	2	0	2	3	0	0
西 堀	5	4	5	3	0	2	2	2	4	5	0	1
亀 田	6	4	4	3	0	1	3	1	5	2	2	3
神 山	9	8	5	5	1	2	4	3	5	5	0	0
よろこび	6	5	6	1	0	2	1	3	6	5	0	0
社 協	2	2	2	1	0	0	0	0	2	0	0	0
合 計	58	47	46	23	2	15	22	14	47	31	3	7
R1実績	56	44	51	32	5	9	16	20	51	30	4	6

- ・個別ケースの検討を行う地域ケア会議で検討された解決策は、令和元年度とほぼ同様の傾向で、地域や関係者の見守り体制の構築、ネットワーク構築が多く、地域ケア会議を通してインフォーマルな資源も含めた支援体制を構築できたと評価できる。
- ・家族への支援の件数が増加しており、30%以上となっている。地域ケア会議で抽出された課題からも、困難事例についての検討が多いことがうかがえるほか、障がいサービス事業者等高齢者分野以外の参加者も増加しており、複合的な課題を抱える世帯の支援体制を整える場としても機能していると評価することができる。

② 地域課題の検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(件)

センター名	開催回数	見守り体制 (地域)	見守り体制 (関係機関)	サービス 拡充	周知	ネットワーク (関係機関)	ネットワーク (地域)	地域づくり	その他
あさひ	2	2	0	0	2	0	2	1	0
こん中央	3	0	0	0	3	0	0	3	0
ときとう	3	1	0	2	3	0	2	2	0
ゆのかわ	5	2	5	5	0	5	5	4	0
たかおか	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西 堀	1	1	1	1	0	1	1	1	0
亀 田	2	1	0	1	1	0	1	1	0
神 山	4	2	2	0	1	2	2	1	1
よろこび	3	0	0	1	0	0	2	3	0
社 協	2	0	0	2	2	0	0	2	0
合 計	25	9	8	12	12	8	15	18	1
R1実績	40	14	9	18	23	23	29	35	4

- ・地域課題の検討を行う地域ケア会議で検討された解決策は、令和元年度とほぼ同様の傾向で、地域づくりや地域住民と関係機関のネットワーク構築が多い。地域づくりでは、多世代や他機関の協働による新たな支え合いの仕組みが創出された地域があったほか、新型コロナウイルス感染症の影響で、縮小・休止している地域活動を継続するための意識醸成を行ったセンターもあった。
- ・一方、予定していた地域ケア会議が開催できなかったセンターも複数ある。特に地域づくりや資源開発は、継続して活動することが重要になることから、これまで積み上げてきたものを発展させるため、状況に応じて取組を行うことが必要である。

2 住民等に対する広報・啓発活動

①地域ケア会議にかかる広報・啓発

(回, 人)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布	対象者数
あさひ	0	4	57
こん中央	0	1	0
ときとう	0	3	18
ゆのかわ	1	1	35
たかおか	0	4	72
西 堀	0	0	0
亀 田	1	0	25
神 山	0	1	0
よろこび	0	2	0
社 協	0	33	428
合 計	2	49	635
R 1 実績	7	33	1,002

②地域での見守りにかかる広報・啓発

(回, 人)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布	対象者数
あさひ	2	12	165
こん中央	0	6	180
ときとう	3	18	333
ゆのかわ	5	0	257
たかおか	1	4	118
西 堀	2	5	283
亀 田	1	2	25
神 山	1	6	380
よろこび	0	6	107
社 協	12	1	185
合 計	27	60	2,033
R 1 実績	18	38	1,670

- ・地域ケア会議にかかる広報・啓発についても、他の業務同様、出前講座・講師派遣が減少し、広報紙・パンフレットの配布が増加した。
- ・地域での見守りにかかる広報・啓発については、新型コロナウイルス感染症の影響を保健師部会が中心となり分析し、地域の見守り活動が脆弱化しているという地域課題への対応として、意識的に出前講座を開催したり、リーフレットを作成・配布するなど対応を強化した結果、広報・啓発回数および対象者数が増加した。

【包括的支援事業】生活支援体制整備事業

1 地域におけるネットワーク構築

(1) 地域におけるネットワーク構築数

※総合相談支援業務における地域包括支援ネットワーク構築数(P.2)のうち第2層生活支援コーディネーター業務を兼ねた回数。

(回)

センター名	懇談会	民児協 定例会	ふれあい 事業	町会 行事	運営推進 会議	その他	合計
あさひ	0	27	1	0	13	45	86
こん中央	1	0	0	0	0	0	1
ときとう	1	6	0	0	2	0	9
ゆのかわ	6	0	4	0	1	0	11
たかおか	0	0	0	0	0	2	2
西堀	0	3	0	5	0	4	12
亀田	1	0	0	5	0	1	7
神山	1	0	0	0	0	19	20
よろこび	1	1	1	0	0	0	3
社協	0	2	0	0	6	18	26
合計	11	39	6	10	22	89	177
R1実績	23	44	10	40	72	64	253

・総合相談支援業務の地域におけるネットワーク構築の場を活用し、センターが第2層生活支援コーディネーターであることの周知を行っているセンターがほとんどである。

・今後は、単に周知を行うだけでなく、第2層生活支援コーディネーター業務に活用できるよう、これまで構築してきたネットワークを強化する必要があると考えられる。そのため、令和3年度からは、業務実績報告書の様式を一部見直し、生活支援コーディネーター業務のねらいを記載することで、より意識して取り組むことができるようにする。

2 住民主体の助け合い活動等の重要性についての普及啓発

(1) 住民主体の助け合い活動等の重要性に関する広報・啓発活動

(回, 人)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布	対象者数
あさひ	2	0	25
こん中央	0	0	0
ときとう	1	2	39
ゆのかわ	4	0	22
たかおか	0	6	156
西堀	1	1	42
亀田	0	0	0
神山	1	0	63
よろこび	0	1	18
社協	0	0	0
合計	9	10	365
R1実績	8	13	569

・住民主体の助け合い活動の広報・啓発回数は、令和元年度とほぼ同様だったが、センターによって取組状況に差がある。引き続き、定期的に開催されている生活支援コーディネーター連絡会において、情報共有や意見交換を実施し、積極的に広報・啓発機会を設ける必要がある。

3 地域における高齢者の支援体制および社会参加に関するニーズの把握および課題の抽出

(1) 第2層協議体の実施回数

※地域課題の検討を行う地域ケア会議(P.20)のうち第2層協議体を兼ねた回数。

(回)

センター名	実施回数
あさひ	2
こん中央	3
ときとう	3
ゆのかわ	5
たかおか	0
西堀	1
亀田	1
神山	1
よろこび	2
社協	2
合計	20
R1実績	38

- ・地域課題の検討を行う地域ケア会議25回のうち、第2層協議体を兼ね、高齢者の生活支援や介護予防の基盤整備に関する検討を行った会議は20回だった。
- ・会議で抽出された地域課題では、地域の互助力の低下が最も多く、次いで、地域福祉の担い手の不足や負担の増大、支え合いや介護予防活動の創出・継続に関連する課題が多かった。
- ・令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響で、縮小・休止している地域活動を継続するための協議体が多く開催された。

(2) 第2層協議体で抽出された地域課題

※地域課題の検討を行う地域ケア会議(P.23)で抽出された地域課題のうち第2層協議体を兼ねた会議で抽出された地域課題。

(件)

センター名	高齢者の傾向	地域住民理解	地域の互助力	地域福祉担い手	関係機関連携	支え合い介護予防	その他
あさひ	2	2	1	0	0	0	0
こん中央	2	0	2	2	0	3	1
ときとう	2	2	2	2	2	1	0
ゆのかわ	5	0	5	1	5	3	0
たかおか	0	0	0	0	0	0	0
西堀	1	0	1	1	1	1	0
亀田	0	0	1	1	0	1	1
神山	1	0	1	1	0	0	0
よろこび	0	0	1	2	0	2	0
社協	0	0	2	2	0	2	0
合計	13	4	16	12	8	13	2
R1実績	23	5	33	30	22	28	1

4 住民主体の助け合い活動等の仕組みの創出および充実

(1) 自主活動グループの支援状況

(回, 件)

センター名	支援回数	団体数	団体名
あさひ	20	7	入舟町健康づくり教室, 大森町いきいき健康クラブ, 天神町サロン, なかよしクラブ, 宝来町健康づくり教室, 弁天町いきいき健康教室
こん中央	45	10	金堀広野サロン, 元気サロン, 元気deサロンin上新川, 元気deサロンin新川, 元気deサロンin的場, 元気deサロンin明和園, 元気deサロン大縄, 松濤サロン, びんびんサロン, わかまつサロン
ときとう	48	6	健康クラブ元気会, 元気deサロンin時任, 元気deサロン人見, 元気deサロン松陰, 元気deサロン梁川, 元気deサロン柳町
ゆのかわ	30	7	川原町健康づくり教室, 東深堀町在宅福祉委員会, お助け隊, 日吉町在宅福祉委員会, 深堀町健康サークル, 湯川温泉町会健康づくり教室, 湯川三丁目町会
たかおか	4	1	新湊町健康づくり教室
西堀	1	1	富岡一丁目いきいき元気教室
亀田	0	0	
神山	8	5	いきいき教室, 健康体操教室, 陣川あさひ健康教室, 南本通小学校コミュニティースクール, 南本通仲よし健康教室
よろこび	21	8	いきいき元気サークル, 亀田港にこやかクラブ, ききょう健康クラブ, にこやか教室亀田本町, にこやか教室桔梗松葉, にこやか教室港町, にこやか会, ひまわり元気会
社協	15	4	汐首町会, 浜町自主グループ, マル元らくらく運動教室とい, 若々体操の会
合計	192	49	
R1実績	187	35	

(2) 自主活動グループでの出前講座実施数

(回, 件)

センター名	支援回数	団体数
あさひ	2	2
こん中央	0	0
ときとう	1	1
ゆのかわ	0	0
たかおか	1	1
西堀	2	1
亀田	0	0
神山	0	0
よろこび	0	0
社協	0	0
合計	6	5
R1実績	22	6

(3) 住民への介護予防に関する広報・啓発活動

(回, 人)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布	対象者数
あさひ	2	11	44
こん中央	3	1	55
ときとう	5	12	235
ゆのかわ	4	3	162
たかおか	6	1	192
西堀	2	5	164
亀田	0	2	0
神山	0	6	149
よろこび	2	2	37
社協	13	14	354
合計	37	57	1,392
R1実績	52	63	2,614

- ・令和2年度から高齢者の生きがいと健康づくり推進事業を廃止し、体制整備事業の住民主体の助け合い活動等の仕組みの創出および充実を目的に、健康づくり教室の自主グループを中心とする自主活動グループの支援を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、活動を休止したグループも多かったが、スムーズに活動を再開できるよう、リーダーへの声掛けや感染症対策の情報提供を行ったほか、第2層協議体を活用し、グループ間の情報交換等を行うことにより、介護予防だけでなく、参加者同士の助け合い活動等の意識醸成を行ったセンターも複数あった。
- ・住民への介護予防に関する広報・啓発についても、他の業務同様、出前講座・講師派遣が減少したが、広報紙・パンフレットの配布は、令和元年度と同程度実施し、コロナ禍における健康づくりの重要性や1人でもできる運動の紹介等、内容を工夫したセンターもあった。

【包括的支援事業】認知症総合支援事業

1 認知症初期集中支援推進事業

(1) 認知症初期集中支援チーム活動状況

(人, 回)

疾患センター名	対象者	訪問回数(延)	チーム員会議	検討委員会
富田病院	1	1	3	2
渡辺病院	1	1	4	
亀田北病院	0	1	1	
合計	2	3	8	2
R 1 実績	10	71	15	2

(2) チーム員の編成 基本的に専門職2名以上, 専門医1名以上 計3名以上

地域包括支援センター			認知症疾患医療センター		市
地区	名称	専門職(75人)	担当	専門医(5人)専門職(18人)	専門職(9人)
西部	あさひ	専門職(各センター1名以上) 医療系・介護系 保健師 社会福祉士 主任介護支援専門員等	富田病院	専門医: 認知症サポート医 亀田北病院 渡辺病院 富田病院 専門職(各センター1名以上) 精神保健福祉士 作業療法士 看護師等	保健師 (認知症地域支援推進員) 訪問活動 チーム員会議 チーム編成等のコーディネート 参画
中央部	こん中央 ときとう				
東中央部	ゆのかわ たかおか		渡辺病院		
北東部	西堀		亀田北病院		
	亀田 神山				
北部	よろこび		渡辺病院		
東部	社協 ランチかやべ				

・新型コロナウイルス感染症の影響があったか定かではないが、令和元年度と比較して対象者数は減少した。

(3) 情報交換会の開催状況

開催日	開催場所	内容	
令和2年7月29日	函館市総合保健センター	実績および活動報告書	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、グループワーク、意見交換は実施なし

2 認知症地域支援・ケア向上推進事業

(1) 認知症地域支援推進員連絡会開催状況

開催日	開催場所	内容	出席者数
令和2年6月16日	函館市総合保健センター	ケアバスの周知と配布, 認知症カフェ企画・今年度の連絡会について等	16人(うちセンター10人)
令和2年10月15日	函館市総合保健センター	多職種協同研修会の開催, センター管理者との意見交換, 次年度の認知症初期集中支援チーム研修会について	12人(うちセンター8人)
令和3年1月21日	函館市総合保健センター	多職種協同研修会の延期について, 次年度に向けて	14人(うちセンター10人)

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、出席人数の制限や感染対策に留意しながら開催した。
 ・会議では、改訂した認知症ケアバスの配布を通し、関係機関との連携や、認知症について周知を深めるための取組や今後の働きかけ、認知症カフェに関する情報交換や、多職種研修の開催について検討した。
 ・会議の中で、各センターの取組状況の情報共有・意見交換を通し、認知症地域支援推進員の理解が深まったと考えられる。

(2) 認知症カフェ※開催状況

名称	担当センター名	開催回数	開催場所	主催
喫茶ロバ茶弁天町	あ さ ひ	3回	弁天町会館	地域包括支援センターあさひ
おれんじの木	こ ん 中 央	2回	ふらっとDaimon	地域包括支援センターこん中央
認知症カフェ「オレンジの輪」	と き と う	1回	シエスタ4階 Gスクエア	地域包括支援センターときとう
ひだまりカフェinゆのかわ	ゆ の か わ	1回	介護老人保健施設ケンゆのかわ	介護老人保健施設ケンゆのかわ
認知症カフェとい茶屋	社 協	2回	戸井生涯学習センター 戸井西部総合センター	家族会(戸井介護者を支え、寝たきり認知症の予防を推進する会)

※ 認知症カフェとは、認知症の人やその家族が地域の人や介護・医療の専門家と交流することで相互に情報を共有したり、お互いを理解する場

- ・令和元年7月、認知症カフェ関係者や実施を計画している方を対象に「函館市認知症カフェ企画運営者実践研修会」(市主催)を開催した際に、認知症地域支援推進員が多数参加し、講師の矢吹 知之氏(社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究 研修仙台センター 研修部長)の講話により、カフェ開催に向けた動きが浸透したことが考えられる。
令和元年度と比較し、市内で開催したカフェの開催(総数)は7か所27回に増加した。
- ・事業所が開催する認知症カフェをセンターが支援するなど、多様な認知症カフェのあり方が広まった。

(3) 認知症ケアパス※「知ってあんしん 認知症ガイドブック」第2版の作成および配布

- 医療機関(薬局, 調剤薬局含む)、郵便局, 金融機関, 警察関係, 介護サービス事業所関係, 町会, 民生委員, 見守りおよび配食事業所, 関係機関(社会福祉協議会, 家族会等), センター, 公共施設に配布。
- ※ 認知症ケアパスとは、地域ごとに発症予防から人生の最終段階まで、生活機能障がい進行状況に合わせ、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければ良いのか、これらの流れをあらかじめ標準的に示したもので

- ・令和2年度、認知症地域支援推進員とともに、認知症ケアパスの全面改訂に向けて打合せを行い、家族会、認知症疾患医療センターから意見をいただき、内容を充実させた第2版を作成。令和2年6月に発行・配布を行った。

(4) 多職種協同研修会の企画(※開催延期)

テーマ	函館市認知症地域支援・ケア向上事業 令和2年度「函館市認知症カフェ企画運営研修会」～多職種研修会
日時	令和2年12月10日(木) 13:00～14:00
場所	函館市亀田交流プラザ 大会議室
対象者	居宅サービス事業所(通所介護, 通所リハビリテーション), 介護老人福祉施設, 介護老人保健施設, 地域密着型サービス事業所等の管理者および職員, センター職員
内容	(1) 認知症カフェ整備に向けた国の施策や動向, 函館市認知症カフェ認証事業について (2) 実践報告

- ・認知症ケアに携わる多職種協同のための研修事業で、定例の認知症地域支援推進員連絡会議のほか、別途打ち合わせ会議を設定。テーマを「認知症カフェ」の企画運営とし、研修を企画することとした。内容は、認知症地域支援推進員などが企画運営に携わっている認知症カフェ(センターが主催または後方支援)の実践報告を予定しており、開催に係る準備などの役割を認知症地域支援推進員で分担した。協働し開催案内の送付まで至ったが、市内の新型コロナウイルスの発生状況から、年度内の開催は見合わせることにした。

(5) 研修参加

(回, 人)

センター名	認知症関係	認知症地域支援推進員研修会(再掲)
あさひ	0	—
こん中央	3	—
ときとう	2	—
ゆのかわ	1	—
たかおか	1	—
西堀	1	—
亀田	1	—
神山	1	—
よろこび	1	—
社協	0	—
合計	11	0
R1実績	42	13

・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、認知症介護研究・研修東京センター主催である認知症地域推進員研修会が中止となった。

【任意事業】

1 住宅改修支援事業

(1) 住宅改修支援状況(延数)

(回)

センター名	支援回数
あさひ	15
こん中央	10
ときとう	11
ゆのかわ	21
たかおか	18
西堀	12
亀田	21
神山	26
よろこび	9
社協	18
合計	161
R1実績	167

(2) 住民に対する広報・啓発活動(延数)

(回,人)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレットの配布	対象者数
あさひ	1	0	13
こん中央	0	0	0
ときとう	0	5	1
ゆのかわ	3	1	98
たかおか	0	1	38
西堀	0	0	0
亀田	0	0	0
神山	0	0	0
よろこび	1	1	6
社協	0	0	0
合計	5	8	156
R1実績	8	21	706